

当館の美術普及事業には宝くじの収益金の一部が使われています。
茨城県陶芸美術館

利用のご案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し翌日休館)
12月29日㊟～1月1日㊟㊟ ※臨時開館は4/30㊟、8/13㊟

観覧料 ()内は20名以上の団体料金

	一般	高齢者(70歳以上)	高大生	小中生
企画展	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
企業展	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
現代日本陶芸アンニアル、いばらき	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
岐阜県現代陶芸美術館コレクション ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
コレクション展・テーマ展	320(260)円	160(130)円	260(210)円	160(130)円

※令和6年4月1日現在の料金。条例改正に伴い、料金を変更する場合があります。
※企画展開催期間中は、企画展の観覧料ですべての展示室が観覧できます。
※企画展開催期間中でも、コレクション展・テーマ展のみの観覧ができます。

■共通年間パスポートの案内(購入日より1年間有効)
茨城県立美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)の各美術館で発売中。一般3,150円 高大生2,100円 小中生1,050円
※令和6年4月1日現在の料金。条例改正に伴い、料金を変更する場合があります。

■次の項目に該当する方は、無料で観覧をご覧いただけます。
1 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)
2 土曜日に入館する小・中・高生(ただし、長期休業日に当たるときは除きます。)
※上記1・2の該当者は、受付で確認できるものの提示をお願いします。
3 教育課程に基づく教育活動として入館する茨城県内の学校の児童生徒及び引率者(県外の特別支援学校を含む・事前に減免申請をしてください。)
4 児童福祉施設、障害者支援施設、老人福祉施設に入所している方及び引率者など(事前に減免申請をしてください。)
※5/25㊟、9/15㊟、9/16㊟㊟、9/18㊟、9/18㊟～9/21㊟、11/30㊟、2/22㊟は、満70歳以上の方は無料になります。
※茨城県民の日(11/13㊟)は、全ての方が無料になります。

■友の会(年会費)

一般成人	一般学生	特別(個人・法人)	～陶芸で心豊かな生活を～
3,000円	2,000円	20,000円	

＜アクセス＞
電 車 / JR常磐線友部駅からかさま観光周遊バス(料金100円)で15分、時刻表はホームページに掲載
または、JR水戸線笠間駅からタクシーで5分(徒歩30分)
車 / 北関東自動車道、友部I.C.から10分、笠間西I.C.から15分
駐車場 / 笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。

- ### お客様へのお願い
- 禁止マークのある作品の撮影はご遠慮ください。また、撮影可の作品でもフラッシュ、三脚(一脚)の使用および動画の撮影はご遠慮ください。
 - メモをとる際は鉛筆以外の筆記具(消しゴムを含む)の使用はご遠慮ください。
 - 展示作品及び展示ケースには、手を触れないでください。
 - 展示室内では、一切の飲食(飴やガムを含む)をお断りします。
 - 携帯電話、スマートフォンは電源を切るかマナーモードにし、通話はご遠慮ください。
 - 他のお客様の観覧の妨げにならないよう、大きな声での会話はご遠慮ください。

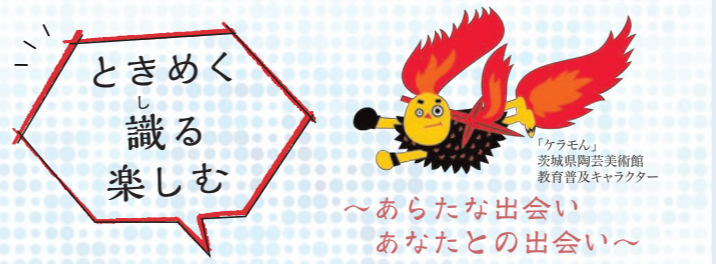
作品及び鑑賞環境保護のため、皆様のご協力をお願いします。

茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地 [笠間芸術の森公園内]
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012

HP Instagram Facebook



茨城県陶芸美術館

展覧会年間スケジュール

2024.4 ▶ 2025.3

企画展 1

セキショウコレクション
ガラスアート・ライジング
藤田 喬平、リトルトン、リバンスキーと世界の作家
ハーヴェイ・K・リトルトン「ブルー・スプレー」
1989年 セキショウコレクション

企画展 2

魯山人クロッシング
北大路 魯山人「金蘭手蓋物」(十客のうち一客)
1939年頃

企画展 3

タクミのセラミック・トラベル
なかだ ひろし
中田 博士「cera debris」
2006年 当館蔵

企画展 4

現代日本陶芸アンニアル、いばらき
いさな 鯨虎 じょう「orange.blue.ptpt-3」
2019年 個人蔵

企画展 5

岐阜県現代陶芸美術館コレクション
ティーカップ・メリーゴーラウンド
ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年
ローゼンブルフ(デザイン:ユリアン・コック)
「ティーポット」
1900年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

施設等のご案内

■ 県民ギャラリー [2F] ①

幅広い創作活動発表の場として貸し出しています。展覧会の規模により分割使用ができます。

■ 第2展示室(展示コーナー) [2F] ②

現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、年3回の展示替えにより紹介しています。

■ 屋外展示広場 ③

屋外ならではの自由な空間にいくつもの作品が展示されています。

■ 板谷波山ロケセット [屋外展示広場] ③

映画「HAZAN」(平成15年)のために製作されたロケセット。波山が明治36年に東京都北区田端に建てた住居兼工房を再現したもので、笠間市北山公園から移設されました。

■ 第1展示室 [1F] ④

当館の収蔵品を中心に、近現代日本陶芸の展開を紹介しています。

■ インフォメーション(総合案内) [1F] ⑤

チケット販売のほか、展覧会情報や館内施設のご案内、車いす・ベビーカーの貸出、授乳室のご利用受付などを行っております。

■ 多目的ホール [1F] ⑥

150名収容の多目的ホールでは、「やきもの」に関する映像の上映や美術講演会等の催しを行います。

■ ミュージアムショップ [1F] ⑧

企画展の図録をはじめ、笠間焼から人間国宝まで幅広い作品をご購入いただけます。

■ レストラン風の丘 [1F] ⑨

四季の変化が楽しめる眺めのよいレストランです。地元の食材を活かした美味しい料理を笠間焼の器でお楽しみいただけます。

■ 企画展示室 [B1] ⑩

陶芸を中心とする国内外の優れた工芸作品を鑑賞できるよう、幅広い視野で多彩な企画展を開催しています。

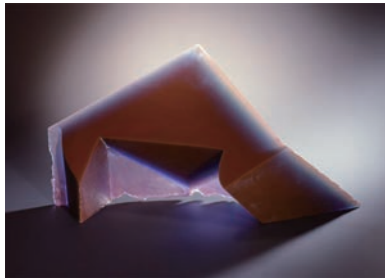
展覧会のご案内 Exhibition Information [2024.4 ~ 2025.3]

企画展 1

**セキショウコレクション
ガラスアート・ライジング**
藤田 喬平、リトルトン、リベンスキーと世界の作家

2024年 1月2日(火) ~ 4月7日(日)

20世紀後半に大きく広がりをみせた、自由で多彩なガラスの造形表現を、世界と日本の代表的な作家23名の70点を超える作品で紹介し、ガラスによる造形表現の魅力に迫ります。



スタニスラフ・リベンスキー&ヤロスラヴァ・プリフトヴァ
「ブルー・テーブル」
1989年 セキショウコレクション

企画展 2

魯山人クロッシング

2024年 4月27日(土) ~ 7月7日(日)

陶芸、書、日本画、料理など幅広い分野で、独自の美意識を追求したことで著名な北大路魯山人。本展では、魯山人の美の世界を、近年再発見された茨城県内のコレクションを通して、陶磁器、日本画、篆刻、書の約70件により紹介します。



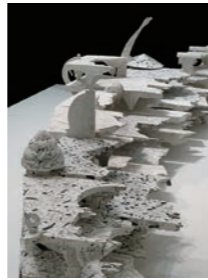
北大路魯山人
「萩絨うずまき 平向 五枚組」
1950年代後半

企画展 3

タクミのセラミック・トラベル

2024年 7月27日(土) ~ 9月23日(月・振)

技巧や意匠を凝らすなど、陶芸の表現の多様さは日々、宇宙のように広がっています。本展では、当館のコレクションから様々な表現の作品を紹介し、作品のおもしろさを発見する果てなき陶芸の宇宙を巡る旅に皆様をご案内します。



松本 ヒデオ
「開み取って貰えるXV (Subterranean Moonlight '02)」
2002年 当館蔵

企画展 4

現代日本陶芸アニュアル、いばらき

2024年 10月12日(土) ~ 2025年 1月26日(日)

日本の現代陶芸の最先端でまさに今、活躍の幅を広げていこうとする作家の紹介を通して、現代陶芸の今を紹介します。同時に、現代の多様な表現にみられる工芸ならではの要素は何かをひもときます。



左：鯨虎じょう
「おにもサンゴ礁おぼけ」
2019年 個人蔵



右：奥 絢子
「輪花旅持ち急須、輪花平鉢」
2022年 個人蔵

企画展 5

**岐阜県現代陶芸美術館コレクション
ティーカップ・メリーゴーラウンド
ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年**

2025年 2月15日(土) ~ 6月(予定)

岐阜県現代陶芸美術館の所蔵品から、19世紀半ば以降のティーウェアやコーヒーウェアを中心に室内装飾品などを加えた名品より、西洋陶磁の歴史的な背景をひもときつつ、各国各時代に花開いたデザインの魅力に迫ります。



ユック・ジカ
「ティーカップ」
1901-1902年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

コレクション展 (第1展示室)

近現代日本陶芸の展開

「近現代日本陶芸の展開」をテーマとして、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、近現代日本陶芸の歩みを語る上で欠かせない作家とその作品を紹介しています。

下館町(現筑西市)出身で、文化勲章受章者の板谷波山と、笠間市で作陶し、「練上手」により重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介しています。



初代 宮川 香山
「色絵金彩猫鼠浮彫花瓶」 明治前期



岡部 嶺男
「粉青盗火罎」 1969年



板谷 波山
「葆光彩磁葡萄紋椀花瓶」 1922年
茨城県指定有形文化財



松井 康成
「練上磁製文大壺 風船」 1981年



新里 明士
「光器」 2016年

テーマ展 (第2展示室)

現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け年3回の展示替えにより紹介します。



Events Calendar 2024

	2024										2025			
	4 APR	5 MAY	6 JUN	7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT	11 NOV	12 DEC	1 JAN	2 FEB	3 MAR		
企画展 (企画展示室)	セキショウコレクション ガラスアート・ライジング 藤田 喬平、リトルトン、 リベンスキーと世界の作家 4/7日	魯山人クロッシング 4/27日			タクミのセラミック・トラベル 7/27日			現代日本陶芸アニュアル、いばらき 10/12日			岐阜県現代陶芸美術館コレクション ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年 2/15日		6月(予定)	
コレクション展 (第1展示室)	コレクション展II・III 5/6日		コレクション展I・新収藏品展 7/7日					コレクション展II・III 10/27日			5月中旬(予定)			
テーマ展 (第2展示室)	駒井哲郎と 中村直人展 4/7日	新収藏品展 4/17日			第23回 全国子ども陶芸展 in かさま 7/15日		現代の革工芸 7/20日		テーマ展(仮称) 9/11日			5月(予定)		
県民ギャラリー	あとをおう 4年越しの同級展 4/16日		日本リアリズム写真集団「RP」 茨城支部第18回「私の視点」 7/2日		第23回 全国子ども陶芸展 in かさま 7/20日		令和6年度 等間陶芸大学 研究科前期制作展 9/11日		令和6年度 素朴な写真展 10/29日		令和6年度 茨城県立笠間高等学校 美術科・ メディア芸術科卒業制作展2024 11/30日		令和6年度 等間陶芸大学 卒業制作展 2/6日	
	感動を求めて茨写連 3/15日		令和6年度茨城県移動展覧会 「茨城の美術セレクト」 2/22日		令和6年度 感動を求めて茨写連 3/15日		令和6年度 感動を求めて茨写連 3/15日		令和6年度 感動を求めて茨写連 3/15日		令和6年度 感動を求めて茨写連 3/15日		令和6年度 感動を求めて茨写連 3/15日	

©展覧会名、会期、出品作品等は変更になる場合があります。

イベント等のご案内 (詳しくはHPをご覧ください)

■ 美術講演会

多彩な講師をお迎えし
企画展等の美術や工芸に
ついてお話を頂きます。

■ ワークショップ

企画展の内容に合わ
せたワークショップを
お楽しみ頂きます。

■ 呈茶会

当館ならではの趣向を
添えて、美味しいお茶を
召し上がって頂きます。

■ 企画展 ギャラリートーク

担当学芸員が企画展
の見どころをわかりやすく
紹介します。

■ 展示解説員による ギャラリートーク

松井康成について | 板谷波山について
水曜日 13:30~ | 金曜日 13:30~
曜日 13:30~ | 曜日 14:00~
(当日先着順/各20分程度)

■ 陶芸ボックス

学校の授業や公民館
等の各種講座で活用で
きます。